

# THE YOKOHAMA SHINKIN BANK SEMI-ANNUAL REPORT



《よこしん》半期レポート 平成23年4月1日~9月30日

 横浜信用金庫

# 《よこしん》半期レポート

日頃、皆様には格別のご愛顧をいただき厚くお礼申し上げます。  
《よこしん》の平成23年度上期(平成23年4月1日～9月30日)  
における事業概況についてお知らせします。

## 1 《よこしん》と地域社会

### お客様

会員数 / 71,297 人  
法人 / 3,326 億円 金融機関 / 89 億円  
個人 / 11,508 億円 公 金 / 17 億円

#### 出資金

20 億円

#### 預金積金

1兆4,941 億円

お客様にご満足いただけるように、  
商品やサービスの一層の充実  
に取り組んでいきます。

### 横浜信用金庫

役職員数 / 1,341 人  
店舗数 / 60 店舗 (うち出張所 1)

#### 平成23年度上期 の収益状況等

業務純益 / 34 億円  
当期純利益 / 21 億円  
自己資本比率 / 11.81%

各種相談・  
支援サービス

貸出金  
8,705 億円

### お客様

会 員 / 8,339 億円 法 人 / 6,897 億円  
会員外 / 365 億円 個 人 / 1,703 億円  
地方公共団体 / 103 億円

住宅ローン / 1,492 億円  
消費者ローン / 61 億円

設備資金 / 3,975 億円  
運転資金 / 4,729 億円

有価証券運用 5,079 億円

貸出金の他、預け金や有価証券等で運用しています。  
預け金は主に信金中央金庫への定期預け金として、有価証券は安全性を第一に債券を中心に運用しています。

### 地域社会発展のお手伝い

福祉	社会福祉協力基金 盲導犬育成支援
環境	環境金融商品・サービス エコキャップ運動
文化	地域情報誌「横浜ルネサンス」の発行 横浜美術館協賛 ジェリービーンズコンサート かもめ会 (観劇・寄席・旅行)
教育	インターンシップ 大学への寄付講座 中学生の職場体験 小学生エコ教室 小学生のキッズ・マネースクール
スポーツ	サッカー教室 野球教室
安全	「こども110番の店」活動 振り込め詐欺防止

### 地域密着型金融の推進

《よこしん》では、「日々の業務を通じ地域社会の発展に貢献する」という基本方針のもと、地域密着型金融の推進に取り組んでいます。平成23年度につきましても、地域経済の活性化と地域社会発展への貢献を目指し、①課題解決機能の強化、②目利き融資の推進、③地域貢献活動の推進の3つを計画の柱に掲げて取り組んでいます。

## 2 預金・貸出金の状況

預金(譲渡性預金を含む)は3月末に比べ439億円、3.0%増加し1兆5,063億円となりました。法人預金は68億円増加し、個人預金も236億円増加しました。

貸出金は3月末に比べ71億円、0.8%増加し8,705億円となりました。

貸出金の業種別残高は下表のとおりです。従来から特定の業種や取引先に偏ることのない小口分散方針をとっています。

### ■預金・貸出金の残高

(単位：百万円)

	平成23年3月末	平成23年9月末
預金積金	1,462,402	1,494,151
うち法人預金	325,820	332,633
うち個人預金	1,127,184	1,150,800
うち金融機関・公金預金	9,396	10,716
譲渡性預金	—	12,225
貸出金	863,369	870,522

### ■貸出金の業種別残高

(単位：百万円、%)

	平成23年3月末		平成23年9月末	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	99,106	11.4	98,501	11.3
農業、林業	140	0.0	207	0.0
漁業	65	0.0	86	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	126,696	14.6	126,503	14.5
電気・ガス・熱供給・水道業	286	0.0	262	0.0
情報通信業	6,316	0.7	6,183	0.7
運輸業、郵便業	25,906	3.0	25,637	2.9
卸売業	46,333	5.3	46,483	5.3
小売業	43,207	5.0	43,058	4.9
金融業、保険業	10,863	1.2	10,455	1.2
不動産業	195,527	22.6	197,202	22.6
物品賃貸業	6,310	0.7	6,210	0.7
学術研究、専門・技術サービス業	1,773	0.2	1,780	0.2
宿泊業	13,879	1.6	12,654	1.4
飲食業	11,481	1.3	11,536	1.3
生活関連サービス業、娯楽業	15,024	1.7	14,262	1.6
教育、学習支援業	5,232	0.6	5,117	0.5
医療・福祉	14,076	1.6	14,431	1.6
その他のサービス	59,388	6.8	69,175	7.9
地方公共団体	11,834	1.3	10,382	1.1
個人(住宅・消費・納税資金等)	169,918	19.6	170,388	19.5
合計	863,369	100.0	870,522	100.0

(注) 不動産業には不動産賃貸業を含みます。

## 3 金融再生法に基づく不良債権の開示

破産更生債権及びこれらに準ずる債権の担保処分等による回収を進めた結果、不良債権残高は3月末に比べ9億円、1.6%減少し579億円となりました。

不良債権に対する備えは、担保や保証、貸倒引当金等により91.6%が保全されています。

資産の自己査定は9月末、3月末の年2回厳格に実施しており、本資料の数値は9月末の自己査定結果を反映しています。

### ■不良債権の状況

(単位：百万円)

	平成23年3月末	平成23年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,421	11,823
危険債権	41,040	41,342
要管理債権	4,437	4,737
不良債権合計	58,899	57,904
正常債権	809,264	817,049
総合計	868,164	874,953

### ■不良債権に対する備え

(単位：百万円)

	債権額 A	保全額 B	優良担保、保証 ・割手等C	一般担保 D	貸倒引当金 E	保全率 B/A	引当率 E/(A-C-D)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	13,421	13,421	3,762	4,758	4,901	100.00%	100.00%
	11,823	11,823	3,231	3,838	4,753	100.00%	100.00%
危険債権	41,040	37,953	27,294	8,366	2,292	92.47%	42.60%
	41,342	38,346	27,761	8,322	2,262	92.75%	43.02%
要管理債権	4,437	2,430	15	2,190	224	54.77%	10.07%
	4,737	2,888	15	2,633	239	60.97%	11.48%
不良債権合計 F	58,899	53,805	31,071	15,315	7,418	91.35%	59.28%
	57,904	53,059	31,008	14,794	7,256	91.63%	59.96%
正常債権	809,264	不良債権比率 F/G					
	817,049						
総合計 G	868,164	6.78%					
	874,953	6.61%					

(注) 上段は平成23年3月末、下段は平成23年9月末の計数です。

## 4 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は3月末に比べ0.11ポイント上昇し11.81%となりました。国内基準（4%）はもとより、国際基準（8%）も上回る高い水準を維持しています。

（単位：百万円）

項目	平成23年3月末	平成23年9月末
出資金	2,035	2,026
利益準備金	2,282	2,282
特別積立金	71,336	71,336
次期繰越金	122	2,299
処分未済持分（△）	61	54
基本的項目計 A	75,716	77,891
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	△ 448	△ 448
一般貸倒引当金	1,748	1,764
補完的項目計 B	1,299	1,316
自己資本総額 C（A+B）	77,015	79,207
他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額	11,714	11,714
期限付劣後債務及び期限付優先出資並びにこれらに準ずるもの	7,700	7,700
控除項目不算入額（△）	11,714	11,714
控除項目計 D	—	—
自己資本額 E（C-D）	77,015	79,207
資産（オン・バランス）項目	605,555	618,398
オフ・バランス取引等項目	3,224	3,282
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	48,962	48,962
リスク・アセット等計 F	657,742	670,643
単体Tier1比率 A/F	11.51%	11.61%
単体自己資本比率 E/F	11.70%	11.81%

## 5 収益の状況

（単位：百万円）

信用金庫本来の事業活動による利益を表す業務純益は、前年同期に比べ1億円増加し34億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ3億円増加し31億円、当期純利益は前年同期に比べ2億円増加し21億円となりました。

（注）業務純益＝業務収益－（業務費用－金銭の信託運用見合費用）

	平成22年9月期	平成23年9月期
業務収益	15,354	15,147
資金運用収益	13,265	12,955
役務取引等収益	1,531	1,485
その他業務収益	556	706
業務費用	12,058	11,740
資金調達費用	1,233	919
（うち金銭の信託運用見合費用）	(5)	(4)
役務取引等費用	597	598
その他業務費用	28	38
一般貸倒引当金繰入額	28	16
経費	10,169	10,167
業務純益	3,301	3,411
経常利益	2,823	3,143
当期純利益	1,965	2,176

## 6 有価証券の時価情報

有価証券は債券を中心に安全性を重視した運用を行っています。株式の含み益は減少しましたが、市場金利の低下が進み債券の含み益が増加したことから、有価証券全体では含み益が増加しています。

### ■満期保有目的の債券で時価のあるもの

（単位：百万円）

	平成23年3月末					平成23年9月末				
	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	90,084	91,751	1,666	1,740	73	86,913	88,810	1,897	1,972	75

（注）時価は期末日における市場価格等に基づいています。

### ■その他有価証券で時価のあるもの

（単位：百万円）

	平成23年3月末					平成23年9月末				
	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	取得原価	差額	うち益	うち損
株式	2,646	2,294	351	458	106	2,764	2,579	184	321	136
債券	328,974	325,246	3,727	3,974	246	352,473	347,651	4,822	4,940	118
その他	67,882	66,967	914	1,191	276	66,591	66,527	63	690	626
合計	399,503	394,508	4,994	5,624	629	421,830	416,759	5,071	5,952	881

（注）貸借対照表計上額は、上場株式、上場投資信託及び上場優先出資証券については期末日前1ヵ月の市場価格の平均に基づいて算定された額により、また、それ以外については、期末日における市場価格等に基づく時価により、それぞれ計上したものです。

※計数は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※平成23年9月末の計数は、会計監査人の監査を受けておりません。

## 7 長期格付け

# A-

日本格付研究所 (JCR)

《よこしん》では、格付けを財務の健全性を皆様にお伝えする客観的材料の一つと考え、平成16年度より開示しています。平成23年度の格付けは、債務履行の確実性が高いとされる「A-」(シングルAマイナス)で、健全性を維持するための様々な取り組みと債務履行能力が高く評価されています。

### ■格付けとは

一般に長期格付けは、格付けの対象となる債券の元本及び利息が約定通りに支払われる確実性の程度を、第三者が評価し簡潔な記号で表示する情報です。当金庫の長期格付けは、包括的な信用力や債務返済能力について判定を受けたものです。

### ■日本格付研究所 (JCR) の基準

AAA	債務履行の確実性が最も高い
AA	債務履行の確実性は非常に高い
<b>A</b>	<b>債務履行の確実性は高い</b>
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある

(注) 1. 以下、CCC、CC、C、D、まで10段階があります。  
2. AAからBまでの各ランクはさらに+ (プラス)、フラット、- (マイナス) に細分されます。

## 8 トピックス (平成23年4月から9月まで)

### 5月

- 神奈川県警察と連携し「振り込め詐欺撲滅月間」を実施しました。依然として被害が後を絶たない振り込め詐欺の撲滅を図るため、当金庫全営業店で注意喚起グッズ合計2万個を配布するなどして注意を呼びかけました。
- 地域情報誌「横浜ルネサンス」第17号を発行しました。特集「ハマの市民放送局」と題して、さまざまな視点から横浜の街の魅力をインターネット放送する方々取材しました。「横浜ルネサンス」は当金庫の創立80周年記念事業の一環として、平成14年に創刊しました。街を通過する観光客の視点ではなく、生活者の視点で横浜を捉えることをコンセプトとした小冊子です。

### 6月

- 東日本大震災の影響で予想される電力不足および地球環境問題を踏まえ、職員の家庭の節電をバックアップする節電キャンペーンを6月から9月まで実施しました。
  - ◆「節電家計簿の配布」  
東京電力の検針票「電気ご使用量のお知らせ」から電気の前年使用量と本年使用量を転記することで、使用量の増減の把握に努めました。
  - ◆「節電コンクールの実施」  
各家庭での「節電の取組状況」と「節電の成果」を評価するコンクールを実施しました。

### 7月

- 横浜美術館において、小学生対象の環境教育イベント『小学生エコ教室』を開催しました。このイベントは地球環境問題および今夏の節電対応を踏まえ、小学生に『エコ』について楽しく学んでいただくために開催したものです。  
2部構成で実施、第1部は「らんま先生の“エコ実験パフォーマンスショー”」、第2部は「節電ポスターを作ろう!!」を開催しました。



## 8月

- 環境に配慮した住宅設備の購入・設置、および介護や耐震構造を目的とした増改築工事を対象に、通常のリフォームローンから金利を優遇した「《よこしん》ライフリードリフォームローン『エコ』」を8月1日に発売しました。

また、神奈川県が推進する「かながわソーラープロジェクト」の趣旨に賛同し、住宅用ソーラーパネルの設置普及を支援していくことを目的として、リフォームローン『エコ』からさらに金利を優遇した「ソーラーパネル普及支援キャンペーン」も8月1日から実施しています。

- 金融経済教育の一環として、小学校高学年を対象とした「《よこしん》キッズ・マネースクール」を開催しました。「キッズ・マネースクール」は平成20年度から開始し、今年は8月2日、4日の2日間行い、親子など38組76名の方に参加いただきました。信用金庫の仕事についての授業や営業室見学、お礼の教え方、1億円の重さ体験などを実施しました。



- 8月28日に「第15回《よこしん》サッカー教室」を開催しました。横浜F・マリノスの中村俊輔選手を招いて、小学生234名がミニゲームなどで汗を流しました。

また、横浜F・マリノスの主催試合に8席の「福祉席」を設け、横浜市こども青少年局を介して地域の子どもたちを招待する取り組みも継続しています。



- 平成14年度から続けているインターンシップ<sup>®</sup>（学生の就業実習）に、今年度は8大学18名の学生を受け入れました。

## 9月

- 地域情報誌「横浜ルネサンス」第18号を発行しました。特集「商店街散策」と題して、横浜在住の小説家、山崎洋子さんと写真家の佐藤秀明さんに5つの商店街を取材していただきました。
- 横浜市立大学への寄附講座を実施しています。テーマは「融資判断のための企業分析講座」で、当金庫職員が講師を務めています。



このほかに、横浜美術館との連携事業である「Heart to Art」プログラムに協賛し、「子どものアトリエ」を応援しています。また、財団法人日本盲導犬協会への盲導犬育成費の寄贈を毎年継続しています。

平成23年11月制作

### 横浜信用金庫

〒231-8466 横浜市中区尾上町2丁目16番地1  
TEL. 045-651-1451（代表）

《よこしん》ホームページ <http://www.yokoshin.co.jp>



FSC®森林認証紙にノンVOCインキ（石油系溶剤0%）で印刷しています。また、できるだけ多くの人に読みやすい、文字のユニバーサルデザインに配慮しています。